

令和 6 年 6 月 20 日現在

機関番号：14401

研究種目：若手研究

研究期間：2019～2023

課題番号：19K14125

研究課題名（和文）ノルウェーの教育政策における多文化主義とその実践にかんする研究

研究課題名（英文）Education policy and practice for cultural diversity in Norway

研究代表者

北山 夕華（Kitayama, Yuka）

大阪大学・大学院人間科学研究科・教授

研究者番号：30547790

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,200,000円

研究成果の概要（和文）：本研究は、多文化共生に資する教師教育および教養プログラムのあり方を明らかにするため、政策分析、カリキュラム分析、インタビュー調査を通じ、多角的な考察を試みた。

その結果、(1) ノルウェーにおいては、2020年のカリキュラム改革から、多文化社会を前提とした教育政策がより明確化したこと、(2) 文化的多様性に応じる教育研究においては、批判的教育学とその周辺分野が影響を与えていること、(3) 教師教育者の専門性や問題意識に基づく柔軟な実践が行われていること、(4) 多様な背景を持つ教師採用が進んでいること、(5) 教育政策への新自由主義の影響は限定的であること等が明らかになった。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究は、同化主義教育から多文化主義へと転換してきたノルウェーに焦点を当てることで、子どもの多様性に対応した教育政策および実践について、その具体を明らかにすることを試みた。本研究の学術的意義は、多文化社会に対応した政策と、実際の教育現場における実践との双方を検討した点にある。また、ノルウェーの政策の変遷や、教師・教師教育者の工夫や葛藤についての本研究成果は、日本の今後の教育を検討していくにあたって重要な示唆を与えるものと考えられる。加えて、研究成果を日本語と英語の両方で、学術論文だけでなく書籍の形で発表することで、国内外の研究者、教師、学生にも成果を還元することが期待される。

研究成果の概要（英文）：This study aimed to examine culturally-responsive teacher education and other related programmes, and attempted to scrutinise this from multiple perspectives through educational policy analysis, curriculum analysis and interviews with university faculty members.

Main findings of the above research activities are: (1) in Norway, educational policy has become more explicitly based on a multicultural society since the 2020 curriculum reform; (2) an influence of critical pedagogy in educational research; (3) teacher education practices are provided flexibly based on the professional commitment and expertise of lecturers; (4) recruitment of teachers with cultural competency, including teachers with an immigrant background; (5) limited impact of neoliberalism on educational policies. These findings are published in five journal articles, two co-authored books, and one edited book, and presented at 12 conferences.

研究分野：教育社会学

キーワード：多文化教育 文化に応じる教育学 教師教育 社会正義 ノルウェー シティズンシップ 移民

様式 C - 19、F - 19 - 1 (共通)

1. 研究開始当初の背景

教室の多文化化が進む日本において、多様な背景を持つ子どもに対応した教師教育とカリキュラムの開発の必要性が一層高まっている。また、異なる文化的背景を持つ人々が共に暮らすことが避けがたいグローバル社会においては、価値や文化が異なる人々と共生するための多様性コンピテンシーの育成と、多様性を尊重しつつ、民主的な過程を通じて社会的合意を形成する開かれた社会統合の実現が喫緊の課題である。そのためには、社会の形成者としての資質形成や、多文化共生のための能力育成を担う学校教育および教師教育の役割がきわめて重要である。

日本においても、特別な支援の必要な子ども(文部科学省 2012年)、性的少数者の子ども(同 2015年)、日本語指導の必要な子ども(同 2017年)など、多様な子どもへの対応についての対応が進められてきた。教員養成コアカリキュラム(文部科学省 2017年)では、特別な支援を必要とする子どもとして、日本語を母語としない子どもへの対応がわずかに言及されている。これはあくまでガイドラインを示すものであり、教師教育の実践面においては、現場に委ねられる部分が多い。

2. 研究の目的

本研究は、多文化化する社会に対応した学校教育および教師教育の具体を明らかにし、多文化社会におけるより民主的で包摂的な教育実践のあり方を検討することである。そのために、本研究では、同化主義教育から多文化主義へと転換してきたノルウェーの教育に注目した。具体的には、以下の3点をリサーチクエスションとし、子どもの多様性に対応した教育のあり方について、教育政策から実践に至るまでを考察した。

- (1) 多文化社会に対応した教育政策・カリキュラムとその変遷はどのようなものか
- (2) 教師教育者はどのような問題意識と専門性を持ち、それらを実践に反映させているか
- (3) 包摂的な教育実践の分析のための理論的枠組みはどのようなものがあるか

3. 研究の方法

上記の目的を達成するため、本研究は教育政策研究、カリキュラム研究、教師教育者研究の三領域から構成される。文献調査の結果を踏まえ、批判的教育学(Critical Pedagogy)の視点に注目し、特に「文化に応じる教授法(Culturally Responsive Pedagogy)」に基づき、三領域の研究を実施した。

教育政策研究とカリキュラム研究については、政策文書とカリキュラムを入手して内容分析を行うほか、カリキュラム評価委員へのインタビューを実施した。教師教育者研究においては、ノルウェーの大学の教師教育プログラムの授業を担当している教員を対象に、インタビュー調査を行った。加えて、ノルウェーの現地調査の際には、現地の中学校、NGO・NPO、教会なども訪問し、聞き取りや観察を実施した。包摂的な教育実践分析のための理論的枠組みの検討については、「文化に応じる教授法」と「ケアの倫理」に特に注目し、文献の検討から教育実践への適用について考察した。

4. 研究成果

研究活動の結果、主に以下の点が明らかになった。

- (1) ノルウェーにおいては、2020年の新カリキュラムの導入から、多文化社会を前提とした教育政策がより明確化した。また5年をかけた新カリキュラムのレビュープロジェクトが進んでいる。
- (2) 文化的多様性に応じる教育研究においては、特にアメリカの批判的教育学の影響がみられるなど、欧米における教育研究の蓄積が参照されている。
- (3) 教師教育の実践レベルにおいては、教師教育者に委ねられる部分が多く、かれらの専門性や問題意識に基づいた実践が柔軟に行われている。
- (4) 移民の背景のある教師や、大学の多文化教育コースの修了者など、子どもの多様性への対応力を持つ多様な教師の採用が進められている。
- (5) 知識基盤社会に対応した教育が政策においても強調されているが、日本やイギリスなどでみられる、教育政策における新自由主義の影響は限定的である。

これらの成果は、雑誌論文5編(うち査読付き論文3編、うち国際共著1編)、共著の学術書2冊、編著書1冊、学会発表12件の形で発表した。

主な発表論文(1)「多様性に応じる教授法の実践と省察 社会正義を志向する主体としてのノルウェーの教師教育者に注目して」(『教育学研究』第90巻第3号、2023年)では、教師教育者がどのような問題意識に基づいて実践に臨み、どのような省察を経ているのかについて、文化に応じる教授法の視点から考察した。

論文(2)「シティズンシップ教育と新自由主義 保守系政権下における政策と実践の検討」(『日英教育研究フォーラム』第26号、2022年)では、保守系政権における教育政策の変容について、シティズンシップ教育に注目し、政策の背景と内容、およびそれらが教育実践においてどのように影響を与えているかについて明らかにした。

論文(3)「The ethics of care as a pedagogical approach: Implications for education for democratic citizenship」(Educational Studies in Japan, 2022年)では、包摂的で民主的な教育実践のアプローチとして「ケアの倫理」に注目し、その理論整理および教育実践への適用について検討した。

論文(4)「教育における多文化主義とその実践：ノルウェーの中学校の事例から」(『大阪大学教育学年報』第26巻、2021年)では、移民が多く暮らす地域の中学校の事例を取り上げ、多様性に応じた教育実践の内容や教師の問題意識等について論じた。

論文(5)「Teacher education for social justice: Case studies of Japanese and Norwegian educators」(Osaka University Annals of Educational Studies, No. 25, 2020年)では、日本とノルウェーの教師教育者へのインタビューから、多様な学習者を想定した教師教育実践について、自らの専門性や個人的背景をもとにどのように取り組んでいるのかを比較検討した。

共著書2冊のうち、(1) *Multiculturalism in Turbulent Times* (Routledge, 2021年)では第5章「Transnational identities and struggles for multicultural justice in schools: Zainichi Korean teachers in Japan」を担当し、マイノリティの教師の葛藤と取り組みを通じて、包摂的な教育のあり方について検討した。

共著書(2) *Identities, Practices and Education for Evolving Multicultural Families in Asia-Pacific* (Routledge, 2022年)では第12章「Navigating academic and career pathways in the era of neoliberalism: Educational trajectories of first-generation immigrant youth in Japan」を担当し、文化的に多様な子どもを支える教育のあり方について論じた。

編著書『多文化社会の学校と教師教育 ノルウェーと日本の国際比較研究から』(大阪大学出版会、2024年)では、本研究の成果を広くまとめ、研究者だけでなく、学生、教師、教師教育者を読者として想定し読みやすく編集した。第一部では多文化社会の教育をめぐる視点を論点を整理し、第二部では日本における教育政策の概要と、教師教育者の取り組みについて検討した。第三部ではノルウェーの教育政策・カリキュラムの編成、移民を対象とした教育実践、中学校における実践、および教師教育者の取り組みについて論じ、最後に日本とノルウェーの実践を比較検討した。

本研究の学術的意義は、多文化社会に対応した政策と、実際の教育現場における実践との双方を検討した点にある。また、ノルウェーの政策の変遷や、教師および教師教育者の実践における工夫や葛藤についての研究成果は、日本においても子どもの多様性に対応した教育を今後検討していくにあたり、重要な示唆となると考えられる。学術論文だけでなく、書籍も刊行することで、研究者のみならず教師や学生など幅広い層に研究成果を還元することが期待される。加えて、日本語と英語の両方で研究成果を発表したことで、日本国内だけでなく、海外における多文化社会に応じた教育研究にも貢献することが可能であると考えられる。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計5件（うち査読付論文 3件/うち国際共著 1件/うちオープンアクセス 5件）

1. 著者名 北山 夕華	4. 巻 90
2. 論文標題 多様性に応じる教授法の実践と省察－社会正義を志向する主体としてのノルウェーの教師教育者に注目して－	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 教育学研究	6. 最初と最後の頁 473～484
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.11555/kyoiku.90.3_473	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 北山 夕華	4. 巻 26
2. 論文標題 シティズンシップ教育と新自由主義－保守系政権下における政策と実践の検討－	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 日英教育研究フォーラム	6. 最初と最後の頁 69～83
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.19021/juef.26.0_69	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 Kitayama Yuka, Hashizaki Yoriko, Osler Audrey	4. 巻 16
2. 論文標題 The ethics of care as a pedagogical approach: Implications for education for democratic citizenship	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Educational Studies in Japan	6. 最初と最後の頁 31～43
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.7571/esjkyoiku.16.31	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 該当する
1. 著者名 北山夕華	4. 巻 26
2. 論文標題 教育における多文化主義とその実践：ノルウェーの中学校の事例から	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 大阪大学教育学年報	6. 最初と最後の頁 3～13
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.18910/79113	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 KITAYAMA Yuka, KAWAGUCHI Hiromi, HASHIZAKI Yoriko and MINAMIURA Ryosuke	4. 巻 25
2. 論文標題 Teacher Education for Social Justice: Case studies of Japanese and Norwegian educators	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Annals of Educational Studies	6. 最初と最後の頁 51～62
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18910/73995	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

[学会発表] 計12件(うち招待講演 4件/うち国際学会 8件)

1. 発表者名 Kitayama, Y
2. 発表標題 Applying Critical Pedagogy in Japanese education
3. 学会等名 13th Biennial conference of the Comparative Education Society of Asia (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Kitayama, Y., Kawaguchi, H. and Hashizaki, Y.
2. 発表標題 Challenges and opportunities of teacher education in Japan: Minority teacher educators' perspectives
3. 学会等名 Korean Association of Multicultural Education International Conference (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Kitayama, Y., Hashizaki, Y. and Kawaguchi, H.
2. 発表標題 Minority teachers and teacher education for social justice: Narratives of minority teacher educators in Japanese universities
3. 学会等名 Comparative and International Education Society Annual Conference (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 北山夕華
2. 発表標題 保守政権におけるシティズンシップ教育－イングランドの政策と実践はどのように変容したか－
3. 学会等名 日本国際教育学会（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Yuka Kitayama
2. 発表標題 Interpretation of Citizenship Education in Japan: Controlling or empowering?
3. 学会等名 Discourse and Politics of Citizenship Education in Asia（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 北山夕華
2. 発表標題 イングランドのシティズンシップ教育は日本にどう受容されたか－「ダイバーシティ」の視点からみる日本型市民性教育
3. 学会等名 日本社会科教育学会（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Yuka Kitayama and Yoriko Hashizaki
2. 発表標題 Human Rights Education and ethics of care in Japan
3. 学会等名 World Educational Research Association（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 KITAYAMA, Yuka and HASHIZAKI, Yoriko
2. 発表標題 Exploring the Ethics of Care in Multicultural Education: The case of Japan
3. 学会等名 Korean Association of Multicultural Education International Conference (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 KITAYAMA Yuka, HASHIZAKI Yoriko and OSLER, Audrey
2. 発表標題 Examining the ethics of care as an inclusive approach for education for social justice
3. 学会等名 Korean Association for Multicultural Education International Conference (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 KITAYAMA Yuka, KAWAGUCHI Hiromi, MINAMIURA Ryosuke and HASHIZAKI Yoriko
2. 発表標題 Teacher education for inclusive and culturally sensitive classrooms: Case studies of two educators from Japan and Norway
3. 学会等名 World Education Research Association Focal Meeting (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 KITAYAMA, Yuka
2. 発表標題 Education for citizenship and global challenges to democracy: Case studies of educational initiatives in Norway
3. 学会等名 日本教育学会第78回大会 特別課題研究 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 KITAYAMA, Yuka
2. 発表標題 Narratives of student teachers on cultural diversity, struggles and citizenship
3. 学会等名 European Conference on Educational Research (国際学会)
4. 発表年 2019年

〔図書〕 計3件

1. 著者名 Yuka Kitayama	4. 発行年 2021年
2. 出版社 Routledge	5. 総ページ数 244
3. 書名 Multiculturalism in Turbulent Times (Halse, C. & Kennedy, K. J Eds.)	

1. 著者名 Yuka Kitayama	4. 発行年 2022年
2. 出版社 Routledge	5. 総ページ数 206
3. 書名 Identities, Practices and Education of Evolving Multicultural Families in Asia (Gube, J., Gao, F. & Bhowmik, M. Eds.)	

1. 著者名 北山夕華, 橋崎頼子, 川口広美, 南浦涼介, 久保美奈, 村田一朗, 今井貴代子, Tony Burner, Tuva Skjelbred Nodeland, Aasmund Aamaas	4. 発行年 2024年
2. 出版社 大阪大学出版会	5. 総ページ数 274
3. 書名 多文化社会の学校と教師教育 ノルウェーと日本の国際比較研究から	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
--	---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------